

特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

(法第12条、法施行規則第56条)
〔PCT36条及びPCT規則70〕

出願人又は代理人 の書類記号 P36724-P0	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2005/001967	国際出願日 (日.月.年) 09.02.2005	優先日 (日.月.年) 23.02.2004
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. H04N7/173 (2006.01), H04N5/445 (2006.01), G06F3/14 (2006.01), G09G5/00 (2006.01), G09G5/377 (2006.01)		
出願人（氏名又は名称） 松下電器産業株式会社		

1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。
法施行規則第57条（PCT36条）の規定に従い送付する。

2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 4 ページからなる。

3. この報告には次の附属物件も添付されている。

a. 附属書類は全部で 3 ページである。
 補正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙（PCT規則70.16及び実施細則第607号参照）
 第I欄4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙

b. 電子媒体は全部で _____ (電子媒体の種類、数を示す)。
配列表に関する補充欄に示すように、電子形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。
(実施細則第802号参照)

4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。

第I欄 国際予備審査報告の基礎
 第II欄 優先権
 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
 第IV欄 発明の単一性の欠如
 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
 第VI欄 ある種の引用文献
 第VII欄 国際出願の不備
 第VIII欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 19.07.2005	国際予備審査報告を作成した日 19.05.2006
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号 100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官（権限のある職員） 古川 哲也 電話番号 03-3581-1101 内線 3541

第I欄 報告の基礎

1. 言語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。

- 出願時の言語による国際出願
 出願時の言語から次の目的のための言語である _____ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文
 国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))
 国際公開 (PCT規則12.4(a))
 国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条 (PCT第14条) の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

- 出願時の国際出願書類

- 明細書

第 1 - 3 8 _____ ページ、出願時に提出されたもの
 第 _____ ページ*、 _____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ*、 _____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

- 請求の範囲

第 2 - 1 3 _____ 項、出願時に提出されたもの
 第 _____ 項*、PCT第19条の規定に基づき補正されたもの
 第 1 _____ 項*、19.07.2005 付けて国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ 項*、 _____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

- 図面

第 1 - 2 5 _____ ページ/図、出願時に提出されたもの
 第 _____ ページ/図*、 _____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ/図*、 _____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

- 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. 補正により、下記の書類が削除された。

<input type="checkbox"/> 明細書	第 _____	ページ
<input type="checkbox"/> 請求の範囲	第 _____	項
<input type="checkbox"/> 図面	第 _____	ページ/図
<input type="checkbox"/> 配列表 (具体的に記載すること)	_____	
<input type="checkbox"/> 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること)	_____	

4. この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

<input type="checkbox"/> 明細書	第 _____	ページ
<input checked="" type="checkbox"/> 請求の範囲	第 1 4 - 1 9	項
<input type="checkbox"/> 図面	第 _____	ページ/図
<input type="checkbox"/> 配列表 (具体的に記載すること)	_____	
<input type="checkbox"/> 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること)	_____	

* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条（PCT35条(2)）に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲 <u>1 - 1 3</u>	有
	請求の範囲 _____	無
進歩性 (I S)	請求の範囲 _____	有
	請求の範囲 <u>1 - 1 3</u>	無
産業上の利用可能性 (I A)	請求の範囲 <u>1 - 1 3</u>	有
	請求の範囲 _____	無

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献1 : J P 2003-219372 A (キヤノン株式会社)

2003. 07. 31, 全頁, 全図

文献2 : J P 2003-101900 A (キヤノン株式会社)

2003. 04. 04, 全頁, 全図

文献3 : J P 7-73287 A (日本電気株式会社)

1995. 03. 17, 全頁, 全図

請求の範囲 : 1 - 1 3

国際調査報告で引用した上記文献1には、プログラムを実行することにより、各々のメモリに記憶されたグラフィックス画像やビデオ画像、スチル画像を重ね合わせて表示する技術が記載されている（特に段落【0029】～【0042】を参照）。

特に、文献1の段落【0035】には、「グラフィック生成部」を介して文字や图形の画像データに変換されたデータ、すなわち「グラフィックス画像」を「文字图形プレーン」や「静止画プレーン」に送ることが記載されているから、文献1に記載のものにおいて、複数のメモリにそれぞれ記憶された異なるグラフィックス画像を重ね合わせて表示することは、当業者の通常の創作能力の発揮に過ぎない。

また、国際調査報告で引用した上記文献2には、グラフィックスや文字、图形、イメージ等を重ね合わせて表示するためのアプリケーションプログラムをダウンロードする技術が記載されており、文献1に記載のプログラムを、文献2に記載のようにダウンロードにより入手することは、当業者が容易に想到し得ることである。

また、国際調査報告で引用した上記文献3には、独立に設けられた記憶手段に記憶された画像を重ね合わせて表示するために、重ね合わせの際の順番を記憶し、該順番に基づいて画像を重ね合わせて表示する技術が記載されており、文献1に記載のものにおけるグラフィックス画像やビデオ画像、スチル画像の合成表示の際に、文献3に記載のもののように、重ね合わせの順番に基づいて合成表示を行う技術を用いることも、当業者が容易に想到し得ることである。

したがって、請求の範囲1, 12, 13に関しては、文献1から3により進歩性を有しない。同様に、請求の範囲2-11に関しても、文献1から3により進歩性を有しない。

補充欄

いすれかの欄の大きさが足りない場合

第 I. 4. 欄の続き

請求の範囲 1 4 に係る発明のように、「複数のグラフィックス画像記憶手段のそれぞれに格納されるグラフィックス画像のうちの少なくとも 1 つ」を「経時的に描画する位置が変化するグラフィックス画像」とし、「経時的に描画する位置が変化するグラフィックス画像」を含む「異なるグラフィックス画像」を重ね合わせて表示する技術に関しては、出願時における明細書には具体的なものが実施の形態として記載されていない。

そのため、請求の範囲 1 4 を追加する補正は、出願時における明細書の開示の範囲を超えたものである。

同様に、請求の範囲 1 5 – 1 9 を追加する補正に関しても、請求の範囲 1 4 の上記の事項を含むものであり、出願時における明細書の開示の範囲を超えたものである。

請求の範囲

【請求項 1】（補正後）

プログラムをダウンロードして前記プログラムに基づく画像を表示する表示処理装置であって、

グラフィックス画像を記憶するための領域を有する複数のグラフィックス画像記憶手段と、

前記複数のグラフィックス画像記憶手段に対して設定された第1の順序を記憶している第1の順序記憶手段と、

前記第1の順序記憶手段に記憶されている順序を通知する通知手段と、

前記プログラムを実行することにより、前記通知手段から通知された第1の順序に基づいて前記複数のグラフィックス画像記憶手段のそれぞれに異なるグラフィックス画像を格納するプログラム実行手段と、

前記複数のグラフィックス画像記憶手段のそれぞれに格納された異なるグラフィックス画像を、前記第1の順序に従って重ね合わせて表示する表示手段と
を備えることを特徴とする表示処理装置。

【請求項 2】

前記通知手段は、前記複数のグラフィックス画像記憶手段のそれぞれを識別するための識別情報を、前記第1の順序記憶手段に記憶されている第1の順序に従って配列して前記プログラム実行手段に受け渡すことで、前記第1の順序を前記プログラム実行手段に通知する

ことを特徴とする請求項1記載の表示処理装置。

【請求項 3】

前記第1の順序記憶手段は、前記複数のグラフィックス画像記憶手段のそれぞれについて、当該グラフィックス画像記憶手段の前記第1の順序における位置と前記識別情報とを記憶している

ことを特徴とする請求項2記載の表示処理装置。

【請求項 4】

前記表示処理装置は、さらに、

前記第1の順序記憶手段に記憶されている第1の順序を変更する変更手段を備え、

前記通知手段は、変更された第1の順序を前記プログラム実行手段に通知することを特徴とする請求項3記載の表示処理装置。

【請求項 1 4】（追加）

前記複数のグラフィックス画像記憶手段のそれぞれに格納されるグラフィックス画像のうちの少なくとも 1 つは、経時的に描画する位置が変化するグラフィックス画像である

ことを特徴とする請求項 1 記載の表示処理装置。

【請求項 1 5】（追加）

前記通知手段は、前記複数のグラフィックス画像記憶手段のそれぞれを識別するための識別情報を、前記第 1 の順序記憶手段に記憶されている第 1 の順序に従って配列して前記プログラム実行手段に受け渡すことで、前記第 1 の順序を前記プログラム実行手段に通知する

ことを特徴とする請求項 1 4 記載の表示処理装置。

【請求項 1 6】（追加）

前記第 1 の順序記憶手段は、前記複数のグラフィックス画像記憶手段のそれれについて、当該グラフィックス画像記憶手段の前記第 1 の順序における位置と前記識別情報とを記憶している

ことを特徴とする請求項 1 5 記載の表示処理装置。

【請求項 1 7】（追加）

前記表示処理装置は、さらに、

前記第 1 の順序記憶手段に記憶されている第 1 の順序を変更する変更手段を備え、

前記通知手段は、変更された第 1 の順序を前記プログラム実行手段に通知する

ことを特徴とする請求項 1 6 記載の表示処理装置。

【請求項 1 8】（追加）

前記変更手段は、前記第 1 の順序記憶手段に記憶されている各グラフィックス画像記憶手段の位置を変更する

ことを特徴とする請求項 1 7 記載の表示処理装置。

【請求項 1 9】（追加）

前記変更手段は、前記第 1 の順序記憶手段に記憶されている 2 つのグラフィックス画像記憶手段の位置を入れ替える

ことを特徴とする請求項 1 8 記載の表示処理装置。